

## タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和5年6月10日(土)午前10時～11時30分  
場 所 苗間会館  
参加者 37人



### 主な意見等

参加者 新しい道路ができましたが、税金も上がりますか。

市 長 道路ができたことで固定資産税がすぐに上がることはないです。

参加者 上沢勝瀬通り線の交差点が変わり、神社からの出入りがしづらくなり、神社の利用が不便になってしまったという声があります。停止線の位置を変更し、神社の出入りがしやすいようにするよう、もう一度検討してほしいです。本当に不便で困っています。

市 長 神社の出入りがしづらくなったという、今回の件を重く見て、皆さんとの質疑を始める前に都市計画課から説明させていただき、検討した中での警察の見解も紹介しました。停止線を後ろに下げることによって信号の制御エリアから外れ、万が一事故が起きた場合の責任の所在が明確にならない、というのが警察の見解です。不便になったという市民の皆さんの意見を再度伝え、どうやったら安全を確保しながら便利になるのか、警察に提案をしながら考えてまいります。

参加者 停止線の手前に、補助の停止線のようなものを引くことはできませんか。

市 長 市内の別の場所でも、道路を拡幅したことで従来通りのスムーズな出入りができなくなり、不便をおかけした例がありました。規制をする警察としては、安全を優先することが必要なのだと思いますが、この神社を使っている方々にとっては大問題であると考えます。警察に対し、ここまでだったら何とかできないのか、という提案をしていきたいと思っています。

参加者 ゼロカーボンシティ宣言は、市としては具体的にはどういうことに取り組んでいくのでしょうか。

市 長 まずは、二酸化炭素の排出を抑えていくことを目指します。ごみの量を減らし、燃やすという行為を抑えることや、酸素を排出する緑化にも取り組んでいきます。現在、東京ガスや武州ガスと協定を締結し、行政としてどのような取組ができるのか研究を進めています。また、市役所の公用車を電気自動車に置き換えることや、市民の皆さんに分別の徹底をさらに周知していくなど、行政として地道に取り組んでいきたいと考えています。

参加者 最近、この近辺に10階以上のマンションが増えていて、街の景観が悪くなっている気がしますが、これについて市長の考えはありますか。

市 長 住宅が増えるということは、街としての需要があり、決して悪いことではないと考えておりますが、景観が大きく変わっていくことに違和感を覚える方もいらっしゃると思います。景観を守っていくために土地の用途を変えるのは難しいことですが、開発業者に対して景観に配慮するよう、協力を求めていくことは可能かもしれません。

参加者 苗間地域内の通学路で、星野精肉店から花屋の周辺が、特に危険だと感じています。勝瀬小学校と東原小学校が選べる地域にもなっているので、富士見市と連携して、危険の解消に向けて取り組んでほしいです。対策するためのお金がないなら、県や国にも訴えて予算を獲得してほしいです。

市 長 富士見市側でもふじみ野市側でも、通学路の安全を確保することは最優先に取り組まなければならないと思います。ガードパイプや注意喚起の看板設置以外にも、安全確保のためにどんな方策が取れるか、ここでご意見いただいたので、改めて現場を再度確認させていただきたいと思います。

参加者 例えばですが、一方通行にするなどの対策はできないのでしょうか。

市 長 一方通行にすると、自動車の交通量が増えて速度も上がってしまったような例が過去にありました。勝瀬小の通学路は、ふじみ野市内の道路を通る場合でも勝瀬小が主体になり指定するので、ご相談があれば対応してまいります。

参加者 苗間会館のクーラーの効きが弱く、部屋全体が冷えないので、冷房を追加して設置してほしいです。また、分館の位置付けが変わり、会館に名前も変わったので、看板も変えてほしいです。

市 長 公民館から文化施設に位置づけが変更されたことによって、公民館分館から苗間会館に変わりました。施設の位置づけは変わりましたが、地域の集会所的な機能はそのままにしたいと考えています。地域のつながりは、コロナで薄れてしまった部分もあるかもしれませんが、子どもたちに受け継がれる必要があると思います。集会施設は地域活動を充実させるために大切で、必要であると考えていますので、クーラーや看板についてもしっかり考えてまいります。

参加者 今年11月12日に予定されている総合防災訓練の打ち合わせ会議で出た意見として、鍵の管理について意見が出ました。大きな災害の発生時は東原小学校の体育館が避難所になっていますが、校長先生や市役所の担当職員が鍵を管理しています。大きな災害が発生した時は、地域に住んでいる人が鍵を管理した方が、より速やかに避難所を準備できると思います。地元の自治会や町会が責任をもって管理するようできないか提案します。特に、真夜中に地震が起きた場合などは、速やかに避難所が開設できると思います。

市 長 有効で前向きなご提案ありがとうございます。二重三重に対策しておくという意味で大変有効だと思いますので、担当課に伝えます。特に、地震災害は発生する時間帯、季節や曜日によって被害の程度も違い、地震の揺れの周期によっても建物への被害が変わってきます。避難所を担当する職員も、できるだけ市内在住の職員を指定していますが、今後も色々な方法を想定していきます。一つお伝えしたいのは、避難所の体育館は、地域の住民全員が避難できる広さはなく、そのための場所ではないということです。災害の後、家に戻れない方や水が出ない地域の人に給水を行う場所として想定しています。避難所は「必ずそこに行かなければいけない場所、ということではない」という点はご理解いただきたいと思います。

参加者 祭りを実施するための準備を進めています。地域のつながりを子どもたちに受け継いでいくために必要だと思っていて、先ほどの市長の話を聞いて力強く感じました。  
長期計画の中に、ふじみ野駅周辺に公共施設を配置するような計画はありますか。

市 長 現段階の構想の中では、新たな公共施設や窓口を設置する計画はありません。

参加者 今年の初めにイオンタウン3階のホールを展示で使わせてもらいましたが、貸し出しが無料でありがたかったです。できれば、展示の宣伝をしたいとお願いしたら、それは無料ではできず、電子看板を1週間4万円程度で使えると言われました。何とか市と連携して無料で使えるようになりませんか。

市 長 ホールの料金や電子看板の料金をどうするかなどについては、お店の経営方針に沿って設定されているものだと思いますので、市として意見することは難しいと考えます。ただし、災害時における連携協定や、イベントスペースとして駐車場を提供していただくなど、多大なご協力をいただいています。